

2018年度 プロジェクト研究所業績報告書（中間報告）

プロジェクト名	大学生の数的能力・金融リテラシーを育成する
研究所名	数的能力・金融リテラシー育成研究所(所長 生活文化学科 高橋桂子 教授)
設置開始	2017.4.1
設置終了	2020.3.31

■研究の進捗状況（研究員の活動実績含む）

1. SPI ・ 公務員講、立体認識講座（学内講師）

- ・ 2018年8/3 高橋：SPI、角本：公務員講座（渋谷）
- ・ 2019年2/5 高橋：SPI、角本：公務員講座（渋谷）
- ・ 2019年2/6 高橋：3Dプリンター、3Dペンを用いて立体感覚をつける、

蟹江：立体問題を解く（日野）

→SPI や公務員講座は開講当初ほど人数が集まらず、2018年度でいったん、終了することとした。2019年度は「FP3級」に特化した講座を試験的に開講することとなった。立体感覚トレーニング（蟹江）は継続実施。

2. 専門家を招聘した勉強会の開催

Dr. Walstad: 早稲田大学国際会議場にて開催を予定していたが、講師の来日キャンセルとなったため、開講せず。

日時：2月1日（金） 16:30~18:00

場所：早稲田大学国際会議場4階共同研究室（7）

内容：「米国のパーソナル・ファイナンス教育の調査・研究成果」

3. 「2018金融調査」の実施→論文・学会発表

調査は、首都圏を中心に、7大学で2018年秋に実施、回収数780人

学会発表：ICEASS、シンガポール（高橋、中野出張）

題目：From knowledge-based to competency-based test items of financial literacy: Pilot test among Japanese middle-level university students

学会名：2019 International Conference on Education and Social Sciences (ICEASS).

内容：2018年秋調査の結果概要報告

あわせて、シンガポールで2か所、訪問

- ① Institute for financial literacy 意見交換を行った。
- ② MOE ギャラリーでの金融教育に関する展示を見学。

4. 専門書の翻訳

Handbook of Financial Literacy

- ・ 全43章を今年度から翻訳を行い、金融リテラシーに関する研究状況を共有することにした。

- ・今年度は各自3章を目途に翻訳を行うことにした。

輪読からは

- ・ competency との関連で金融リテラシーに関する研究が進んでいること
- ・ 用いる理論は様々であること
- ・ ドイツの研究グループが、三次元からなる「competency model」を開発していることなどが明らかになった。

※2018 年度研究成果報告書提出済

■現在までの達成度

1. -4. すべてに計画通り、達成できている。

■次年度以降の研究（見込み）

- ① FP3 級講座＋立体認識講座（学内講師）

■FP の担当は角本・蟹江・中野・高橋。

9 月試験に間に合わせるため、前期、アドホック開催。

今年度は生活文化学生対象。日野キャンパスで実施。

■立体認識は蟹江・高橋担当。3D プリンターを用いた図形の立体認識トレーニングを継続して実施する。

- ② 専門家を招聘した勉強会の開催

国内専門家を招聘する。

- ③ 金融リテラシーに関する調査実施→論文・学会発表

■アメリカ作成「金融リテラシーテスト」翻訳（阿部）、国内実施。2019 年度は本プロジェクト関係者。2020 年度は一橋大学など参加予定。

■「2018 金融リテラシー調査」を改良した「2019 金融リテラシー調査」を実施・分析する

- ④ 専門書の輪読

Handbook of Financial Literacy など

■研究活動における成果

- (1) 研究成果（雑誌、学会発表、図書等）

《論文》

・高橋桂子・数野千恵子・牛腸ヒロミ・細江容子・須賀由紀子、2018、「新選家政学」を読み解く（その1）、女性と文化（下田歌子記念女性総合研究所年報）、5号、35-53

・高橋桂子(2018)「10年間の学会活動(2008~2017)；その他」日本家政学会誌 Vol.69 No.5 (2018/05)

《学会発表》

・猪瀬武則・栗原久・宮原悟・高橋桂子(2018)「18歳選挙権時代の経済教育内容開発：リバタリアン・パターナリズムの扱い」経済教育学会、9/30

・Takahashi, Keiko, Abe, Shintaro, Kadomoto, Nobuteru, Kanie, Noriko, and Nakano, Yumiko, 2019, From knowledge-based to competency-based test items of financial literacy: Pilot test among Japanese middle-level university students, International Conference on Education and Social Sciences, Singapore, 2/12-15

・角本伸晃、2018「観光土産品の経済分析-菓子類を中心として-」平成30年度第1回経済政策研究会、愛知学院大学名城キャンパス、9/6

・角本伸晃、2019「観光土産品（特に菓子類）の経済分析—土産品小売店の集積メカニズム—」2018年度日本観光学会中部支部大会

南山大学名古屋キャンパス、3/16

(2) 学生・生徒の教育及び支援に関する還元

SPI・公務員講、立体認識講座（学内講師）

《夏期講座》

・2018年8/3 高橋：SPI、角本：公務員講座（渋谷キャンパス）

《春講座》

・2019年2/5 高橋：SPI、角本：公務員講座（渋谷キャンパス）

・2019年2/6 高橋：3Dプリンター、3Dペンを用いて立体感覚をつける、蟹江：立体問題を解く（日野キャンパス）